

特許紹介

【図1】

特許名称

3次元地図表示システム

特許番号

特許第 5959479 号

発明の目的

夜景を表現する際に、単に建物に光を描くだけでは、リアリティを向上させることはできなかった。例えば、民家と高層ビルとでは、当然、明かりの点灯具合が異なるため、両者に同じように光を点灯させて夜景を描いても、住宅街と高層ビル街とで同じ程度の明るさしか表現できず、高層ビル街に特有のまばゆい明るさを表現することはできなかった。一方、特許文献1に記載された技術のように、高精細な3次元モデルを利用すれば、上述の問題を解決し、リアリティの高い夜景を表現することは可能ではあるが、今度は、描画のための処理負荷が非常に高くなるという別の課題を招くことになる。

このような、3次元地図において、比較的軽い処理負荷で、リアリティが高い風景を表現したいという課題は、夜景を表現する場合に限られず、昼景を表現する場合にも共通する。

本発明は、上述の課題を解決するためになされたものであり、比較的軽い処理負荷で、3次元地図のリアリティを向上させることを目的とする。

特許請求の範囲

(請求項の数 10)

【請求項1】

地物を3次元的に表現する3次元地図を表示する3次元地図表示システムであって、前記地物の3次元モデルを含む描画データと、前記地物の外観的な属性を表す外観属性情報とを対応付けて格納した地図データベースと、前記描画データを投影した投影図を生成する投影図生成部と、前記外観属性情報に基づいて、前記地物の形状に依存せずに該外観属性情報に応じた外観を表す画像である属性表現画像を、前記投影図上に重ねて表示させる属性表現画像重畳部とを備える3次元地図表示システム。

